

防護柵工事をご紹介します。

道路施設の一つに、【防護柵】と呼ばれる施設があります。

これは、大きく分けると、『車両の路外逸脱防止を目的とする強度の高い柵』と、『歩行者や自転車等が誤って路外に転落・怪我をしないよう防止する柵』の2タイプに分類されます。

前者は、車両用防護柵(ガードレール・ガードケーブル・ガードパイプ など) と呼ばれます。

後者は、歩行者自転車用柵(転落防止柵・乱横断防止柵 など) と呼ばれます。

どちらも、適切に整備されていないと、人命に直結する大切な道路施設です。

近年は、ガードレールに付着した事故車両金属片による歩行者の怪我や、橋の欄干を突破してしまう車両転落事故発生 などの様々な事件もあり、これまで以上に、安全を重視する適切な防護柵整備が求められています。

今回は、【防護柵工事】の内容を、皆さまにご紹介します。

当出張所で監督員をつとめる私  より、工事内容をご紹介します。

▲技術係長▲

- ★工事名 : 尾花沢国道防護柵工事
- ★工期 : 平成20年9月26日～平成21年2月25日(予定)
- ★主な工種 : 路側防護柵工……………車両用の防護柵を設置します。
防止柵工……………歩行者、自転車用の転落防止柵を設置します。

- ★施工業者 : 株式会社 柿崎工務所
 - * 現場代理人: 相馬 さん
 - * 主任技術者: 高橋 さん

- * 現場代理人とは……工事全般に関する現場責任者
- * 主任技術者とは……工事の品質面、技術面の責任者

施工状況のご紹介

【 歩道脇の転落防止柵の施工状況 】



CHECK

▲技術係長▲

購入された材料が適正なものであることを、発注者責任として確認します。

製品の購入

→→→ 現地状況に合う製品(材料)を、必要数量分、購入します。



基礎ブロック搬入時の立会い状況



支柱&柵 搬入時の立会い状況



規格を満たした製品であることを確認

現地設置作業

→→→ 現地状況にあわせ、丁寧に設置していきます。



基礎ブロックを設置する穴を掘ります。



基礎ブロックを設置、穴を戻します。



基礎ブロックに支柱を建て込みます。



建て込んだ支柱に、柵本体を連結していきます。



組み立て作業、完了です。

順調に工事進行中！！ 引き続きご協力お願いいたします。

施工業者を代表して一言



▲(株)柿崎工務所
相馬 さん
(現場代理人)

本工事を担当する柿崎工務所の相馬です。
 工事中は、歩道上での作業が多くなるため、特に歩道利用者の皆様にご迷惑をおかけする場合がありますが、ご理解ご協力お願いいたします。
 転落防止柵は、歩行者・自転車の方々の安全確保のためにも欠かすことのできない施設です。
 その工事目的を肝に銘じて、当現場では、従業員全員一丸となって、品質・出来栄の良い施工を目指しています。
 お気づきの点がありましたら、気軽に当現場にご連絡・ご相談下さい。

今後も発注者(国土交通省)と請負者(施工者)の相互協力のもと、安全第一で作業を行います。
 お気づきの点がございましたら、お気軽にご連絡ください。

道路に関するご意見・質問、出張所通信の感想など
 どんどんお寄せ下さい！

国土交通省 山形河川国道事務所 尾花沢国道維持出張所

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/>

〒999-4221
 山形県尾花沢市尾花沢字田町143-1
 TEL. 0237-23-2521
 FAX. 0237-23-2523



12月の出張所通信

- 12-1. 安全第一☆最上地区第3回安全パトロール
- 12-2. 舗装修繕工事をご紹介します。(13号編)
- 12-3. 国道沿いの冬支度を紹介します
- 12-4. 除雪車の危険性を知って☆体験学習実施
- 12-5. 道路損傷の復旧処理をご紹介します